

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サイトバンカ建屋天井クレーン走行動作不良について】 協力企業作業員が、サイトバンカ建屋において、作業終了後に定位置に戻すため走行していたところ、天井クレーンの動作が停止したことを確認。 確認の結果、縦方向への走行は正常に動作しないことを確認。 なお、横方向への動きについては、異常は見られていない。 その後、走行の制御回路の電磁接触器や制御リレーの動作状況を調査したが、原因の特定に至らなかった。 現在は、第三セウム吸着装置の吸着塔の交換は予定されていないため作業への影響はないものの、復旧が長期になる場合は水処理の運転計画に影響をおよぼす可能性がある。 今後、原因調査を行い、修理を実施。</p>	G II	6月22日
2	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機(B)補機冷却海水ポンプ(D)のストレーナ(A)系ドレン弁のシート漏えいについて】 当直員が、5号機非常用ディーゼル発電機(B)の定例試験時、補機冷却海水ポンプ(D)のストレーナ(A)系ドレン弁の端部から、約60秒に1滴の水の滴下を確認。 原因は、当該ドレン弁のシートパスによるものと推定。 当該ドレン弁の端部に、閉止栓の取り付けを行い、滴下の停止を確認。 なお、当該ストレーナは、予備の(B)系に切り替えて使用することも可能であり、系統運転に問題なし。 今後、次回のストレーナ(A)系の点検に合わせて、分解点検を実施。</p>	G III	6月14日
3	<p>【6号機残留熱除去系(A)の流量計検出元弁のシート漏えいについて】 当直員が、計画点検による6号機残留熱除去系(A)の系統水抜きに伴い、流量計の検出元弁の全開操作を行ったところ、流量計の指示値の上昇および流量「高」警報の発生を確認。 原因は、当該流量計の検出元弁のシート漏えいによるものと推定。 なお、流量計の検出元弁は、通常「開」運用であり、系統への影響なし。 今後、流量計の検出元弁の点検を実施。</p>	G III	6月21日
4	<p>【1号機/2号機非常用ガス処理系の配管切断装置油圧ホースからの油の滴下痕の確認について】 当社社員が、現場巡視において、1号機/2号機非常用ガス処理系のクレーン上部に敷設している配管切断装置油圧ホースより滴下したと思われる、油の滴下痕を敷鉄板養生上で確認。 油の滴下痕は、敷鉄板養生上(約20m×6m)の範囲に点在。 その後、監視を継続した結果、滴下がないことを確認し、また、周囲に火気や可燃物等がないこと、および側溝への流入もないことを確認。 応急処置として、油吸着砂の散布を行い、吸い取りを実施。 今後、滴下の原因調査を行い、油圧ホースの交換を実施。</p>	G III	6月21日
5	<p>【5号機燃料交換機マスト昇降位置検出リミットスイッチ用ケーブル損傷について】 協力企業作業員が、5号機燃料交換機駆動装置取替前の健全性確認におけるマスト(※)降下操作時、マスト昇降検出リミットスイッチ用ケーブルがケーブルリールから外れて引っ掛かり、損傷していることを確認。 今後、マストの点検および当該リミットスイッチ用ケーブルの交換を実施。</p> <p>※マスト：燃料交換機に設置してある燃料を掴む機能を有した昇降伸縮性のポール(長さ約5m～23m)</p>	G III	6月22日